

発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
TEL 0267-23-8880
FAX 0267-25-2224



海應院 潜龍の松 (小諸ふるさと遺産)

春の陽気に誘われて小諸街並み散歩。かねてから訪れてみたかった海應院。ゆるやかな参道を上っていくと赤ずきんの2体のお地藏さまがお出迎え。立派な中門をくぐり本堂へつながる中庭へ、そこには目を見張るような見事な松。推定樹齢370年を超える潜龍の松。この松が幼かった江戸時代初期、ここ小諸の街並みはどんな光景だったのでしょうか。

春の象徴 スイセン

鮮やかで神秘的な黄色とほのかな甘い香りに誘われて、思わず足を止めずにはられません。スイセンの花言葉は「自己愛」「神秘」。中でも黄色のスイセンの花言葉は「私のもとに帰って」だとか……それで立ち止まってしまったのか……納得。暖かい日差しと青空のもと、スイセンの黄色は春の象徴ですね。



◆内容

- p.16 『ぼくとわたしの作品』 (千曲小学校)
- p.17 『えんぴつりレー』 (糠地区 岡本なるみ)
- p.18 【報告】第23回虚子・こもろ全国俳句大会
『俳句・短歌』 (てまり句会/短歌新潮こもろ会)

- p.19 【お知らせ】令和4年度学びのまち・こもろ出前講座ほか
- p.20 令和4年度公民館報編集委員の紹介ほか
- p.21 【募集】6月公民館講座ほか



館報カラー版

5月は、緑が美しく気候としても過ごしやすい清々しい季節です。

4月末から5月初めにかけてゴールデンウィークで、大型連休という方もたくさんいるのではないのでしょうか。

5月の花にライラックがあります。英語名ライラック、フランス語名リラ、日本語名紫丁香花(むらさきはしどい)と言うそうです。

32年以上前に、ライラックに憧れ庭に2本植えました。しばらく紫の花を楽しむことができ、嬉しかったことを覚えていています。

26年前に転勤で引越して、6年前に小諸市に戻ってきました。20年ぶりに見た庭のライラックは1本だけが残り、白い花が咲きました。

調べてみると、台木のイボタノキの花とわかりました。イボタノキの枝は見つけ次第切り取った方がよいとのこと。苗木売場を訪れると、ライラックを探してしまいます。

またいつか我が家の庭に植えたいと思っています。

編集委員 大矢 文子





千曲小学校

※この作品は昨年度書かれたものです。



『ゲーム』～写真から想像した世界～

4年 ^{かけがわ}掛川 ^{きほ}稀穂

自分で心にとまったものを写真にとって、そこから想像を広げて絵を表現しました。ほくはアルコールスプレー・消火器・電話の3つを写真に撮り、そこからゲームの世界を表現しました。

僕はアルコールスプレーと消火器を見て、まるで大昔の恐竜のように感じました。そして、電話が新型のゲーム機に見えてきました。その3つを組み合わせることでゲームの世界にしようと決めました。



工夫したところは、先にうすい色で「下塗り」をしたことです。下塗りをしたおかげで、あざやかでふくざつな色を作ることができました。また、黒い「わく」をかいてテレビを表現することで、ゲームの世界に近づけることができました。

これからもいろいろな美しい作品や楽しい作品をたくさん作っていきたいです。



『花火みたいにきれいな花』～まぼろしの花～

4年 ^{よこた}横田 ^{はな}葉南

感じた花のイメージを元にして、水彩絵の具で“自分だけのまぼろしの花”をかきました。みなさんは花についてどんなイメージを持っていますか。わたしは、花のあざやかなイメージから「花火みたいにきれいな花」をかきました。

絵をかくときに工夫したことは、花びら一枚一枚を花火のようにいろんな色にしたことです。パレットの中に色を作る時も、水の量を変えてたくさんの種類の色を作ることができました。



また、作品を作っている途中で花が風車（かざぐるま）のようにも感じました。花が本当に回っているようにかくことも工夫しました。

みんなに見てほしいところは花びらです。色をぬる方向を全体のバランスを考えながら決めました。また、いろんな色を組み合わせることで、たくさんのあざやかな花びらを表現できたと思います。ぜひ私の工夫したところを見てほしいです。



『めぐがぶ』のワイン

糠地区 岡本なるみ



初めて糠地を訪れたのは2016年の春でした。

東京で勤めていた会社を辞め、東御市の千曲川ワインアカデミーに通い始めた時のことです。アカデミーは、ワインブドウの栽培、醸造、ワイナリーの経営などについて学ぶ場所です。日本全国から生徒を募集していました。

そのアカデミーで隣の席に座っていたのが、糠地でワインブドウの栽培を始めたばかりの『テールドシエル』の池

田岳さんでした。池田さんに案内され糠地を訪れると、ちよと菜の花が咲き乱れ、まるで桃源郷のように美しく、遠くに八ヶ岳から北アルプスまで見渡せる壮大な風景にすっかり魅せられてしまったのです。「どうしても糠地でブドウづくりをしたい」との思いがかなってやつと3反の畑を借りられ、ブドウの苗を植えて栽培を始めたのが、2018年のことです。

初めての農業は、想像以上に大変で、草刈りが追い付かず周囲にご迷惑をおかけすることもたびたびでした。雨のぬかるみで車がはまって、周囲の方たちに車を押ししていたことも何回かありました。家族は東京にいたので、子どもの学校の用事などで行ったり来たりをしていたため、収穫まではブドウの様子が気になって眠れないこともありました。

それでも、糠地の風景の美

しさをみると、忙しい畑の疲れも吹っ飛びました。夏になると、棚田の向こうの燃えるような夕焼けの写真を撮りに、軽トラを走らせました。「いい写真は撮れたかい？」と田んぼ帰りの農家の方に声をかけられたこともありました。

2020年にはようやく初収穫を迎え、昨年には委託醸造した初ワインを販売することができました。

赤ワインは『糠地ルージュ』と名付け、ラベルには、糠地の「天池」を照らす夕日の写真、そして畑から見える浅間山のシルエットをデザインしました。糠地の豊かな大地と、支えてくださったたくさんの方々のおかげだと、感謝の気持ちのいっぱい詰まったワインです。本数が少ないこともありすが、おかげさまで、SNSと口コミですぐに売り切れ、東信地区だけでなく、東京や大阪、九州のレストランでも提供していただ



冬の間、病気療養中に描いた糠地をイメージした絵

けることになりました。ワインを飲んでくださった方々が「美味しい」と言ってくださることで、何よりもうれしい気持ちになりました。

ところが、人生はジェットコースター。昨春秋に受けた手術で、まったく想像しなかったことに、がんが見つかりました。昨年は収穫を終えてすぐに入院し、再手術を受け、抗がん剤の生活が始まりました。

やつとワインを世に出し、糠地に来て5年目の春を迎えようとする前に突然のようにふってきた病。コロナの第5波、第6波の真ただ中での入院で、東京にいる家族のもとで、この冬はずっと家に閉じこもって療養していました。冬の間は作業がないので、しばらく顔をみせなくてもブドウたちは無事冬越ししているだろうと思いつつも、畑が気



になる毎日でした。

そんな日々の中、昔描いていた絵を再開しました。「糠地の畑に行きたい」という思いがたくさん詰まっています。絵を描きながら、糠地の大地のエネルギーが自分にも伝わってくるような気がしました。

1月末、「がん寛解」のお墨付きをお医者さんからいただき、2月になって、やつと畑に帰ってきました。今年の冬は雪が多く、剪定の作業がなかなか進みませんが、西日が照らす雪の丘は、また一味違う美しさに満ちています。春になり、またブドウが芽吹くのが待ち遠しいです。

第23回 虚子・こもろ全国俳句大会 報告

第23回虚子・こもろ全国俳句大会には全国・海外から多くの方のご応募をいただきました。
表彰式は、22回大会に引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため、残念ながら開催しませんでした。市民の皆様にも俳句に親しんでもらおうと与良・荒町・本町・相生町・大手の各区において入選句の短冊が掲げられました。
最後に今大会にご支援・ご協力いただきました皆様
に心より感謝申し上げます。
応募者数 4,027名 / 投句数1万1,393句



入選作品（市内入選者）

— 小学生の部 —

特選

浅間山雪が積って白うさぎ

小諸市立東小学校 小林奈七実

佳作賞

秋晴の紅白帽子熱こもる

小諸市立東小学校 諸山 魁音

入賞校

学校賞

小諸市立東小学校

奨励賞

小諸市立坂の上小学校

俳句

てまり句会

- 操舵輪切れば海猫唄ふ朝 木村 さこみ
- 高高とかかげ泥つき春大根 石田 経治
- 折箱に手作りの菓子春隣 松本 千代美
- 不揃の草餅なれど子沢山 工藤 貢
- 亜浪忌の雪を消し込む千曲川 野中 威
- 探梅の蜜柑狩とはなりにけり 国見 敏子

短歌

短歌新潮こもろ会

- 太陽は黄の色が好きたんぽぽや 森泉 克子
- 名前も知らぬ野辺の花々 田中 恵子
- 木蓮の蕾いつしか膨らみて 春携うる枝を差しのぶ 荻原 さち子
- 光りつつゆったり流るる春の川 陽は暖かく吾も包まる 井出 久子
- ヘルメットの一年生は坂道を 追いつ追われつ春風の中 橋本 仁子
- 春耕の畑黒々と美しく 獲物求むかとおんび空舞う 高橋 美佐子
- 幾たびも庭めぐりては枯れ草の あわいに覗く花芽たしかむ 柿沢 仁子
- 厳寒を越えきし冬菜にみどり葉の 伸びて摘みつむ春のよろこび

令和4年度 学びのまち・こもろ出前講座



皆様のご要望により、市職員等がご希望の会場に出向きお話しをさせていただきます。地域の集いや研修会、勉強会等で活用してはいかがでしょうか。講師派遣は無料です。

全講座については、小諸市公式ホームページをご覧ください。



【申込・問合せ】

文化財・生涯学習課 文化財・生涯学習係 TEL0267-22-1700

★以下の講座は、今年度新たに追加や注目の講座です。講座の詳細を知りたい方はお問い合わせください。

出前講座の申込みの流れ

※市内在住又は通勤・通学している5人以上の団体の方に限ります。

講座を計画

講座を選び、会場を確保してください。



2週間前までに
申込み

担当課と調整

受付後、文化財・生涯学習係が担当課と日時を調整します。



連絡

担当課と調整した結果を申込み者にお知らせします。



講座の開催

| 層 | 講座名 | 内容 |
|--------|---|--|
| 子ども・教育 | 【新】郷土の歴史V (小諸藩の種痘) 【文化財・生涯学習課 古文書調査室】 | 江戸末期に流行した天然痘に苦しめられてきた状況を改善しようと、藩主の牧野康哉が全国的にも早くから進めた種痘について、本町の実態を中心に学びます。 |
| | 【新】図書館職員と学ぼう！ 地域の歴史 【文化財・生涯学習課 図書館】 | 図書館職員が市内各小学校周辺の歴史や建物などを調査してまとめた資料「こもろ散歩」を使い、参加者の皆さんと一緒に地域について学びます。 |
| 体験講座 | 【新】ボッチャ講座 【スポーツ課】 | 誰でもできる・誰でも楽しめる「ボッチャ」をやってみよう！ボッチャのルールを学び、実際に試合を行います。 |
| 環境・みどり | 【注目】家庭の省エネ ゼロカーボンの進め方 【生活環境課】 | 長野県地球温暖化防止活動推進員が家庭でできる省エネ・ゼロカーボンの方法をわかりやすく説明します。 |
| 安心・安全 | 【注目】うまい話にご用心 【市民課】 | 悪質商法の被害にあわないために、悪質商法の手口などについて学びましょう。 |

市立小諸高濱虚子記念館主催

俳句講座

※延期や中止の場合があります。

◆開催日程 (全6回)

| 回 | 期日 |
|---|-----------|
| 1 | 5/8 (日) |
| 2 | 7/9 (土) |
| 3 | 9/11 (日) |
| 4 | 11/13 (日) |
| 5 | 1/8 (日) |
| 6 | 3/12 (日) |

◆時間 13:00~16:00

◆講師 山田真砂年氏
(俳誌「稲」主宰 逗子市在住)

◆会場 小諸市文化センター 第一講義室

◆受講料 無料

◆定員 市民対象25名 ★初心者歓迎

◆申込 5/1(日)~

◇申込・問合せ先 市立小諸高濱虚子記念館

TEL 0267-26-3010



令和4年度

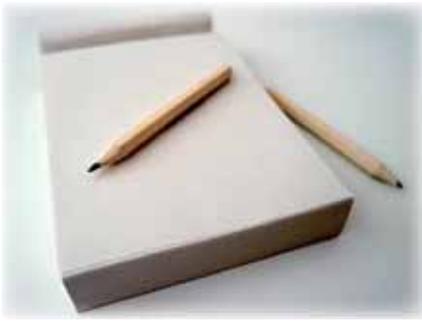
公民館報編集委員の紹介



「公民館報こもろ」は、昭和24年（1949年）に創刊され、以来毎月発行、本誌で867号を数えます。

公民館報は、各支館から1名ずつ（中央支館は2名）推薦されている「公民館報編集委員」により、取材・執筆・校正・編集され、市民の皆様へ伝えたい地域の情報や活動・文化伝統の継承等を発信しています。毎月2回開催される編集委員会では、アイデア・知恵を出し合って、より良い紙面づくりに余念がありません。

公民館報を通して、地域と人、人と人をより強く繋げることができるよう活動を進めたく思いますので、皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。



【前列右から】

川辺支館

中央支館

中央支館

三岡支館

【後列右から】

大里支館

南大井支館

西小諸支館

北大井支館

依田和子

小宮山季

楚山伸二

大矢文子

岡村博文

金井和生

金子美江

小林智男

小諸市文化会館自主事業

第35回 小諸市民音楽祭



音楽のまち・こもろ

開催日

令和4年9月25日 日

（開演時間は、出演団体数により決定）

会場

小諸市文化会館ホール

出演資格

- (1) 小諸市に活動拠点があり、5人以上で構成されている団体で、出演も5人以上の団体
- (2) 1団体あたりおおむね10分以内の演奏（準備、片付けも含む）とする
- (3) 反響板を使用した演奏

参加料

無料

参加申込

5月16日(月)～6月15日(水)

運営方式

出演団体により「運営委員会」を組織し事業詳細を決定 ※1団体、1名の運営委員を選出

申込・問合せ先

小諸市文化センター TEL 0267-23-8880



— 6月公民館講座のご案内 —

申込みは平日9:00~17:00。申込み多数の場合は、初めての方を優先とし公民館にて責任抽選いたします。

また、申込み少数の場合や新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座が中止や変更になることがあります。

▼小諸市文化センター

TEL 0267-23-8880

FAX 0267-25-2224



令和4年度 人権同和教育研修講座

～人権について正しい理解を深めましょう～

◇期日・テーマ 全4回(木)

| 期日 | テーマ |
|------|--|
| 6/9 | ネット社会の人権問題(仮題) 【講師】長野県人権啓発センター |
| 6/16 | 身近な人権問題を考える(仮題) 【講師】東信教育事務所生涯学習課指導主事 |
| 6/23 | 人権課題について満蒙開拓から考える 【講師】満蒙開拓平和記念館館長 寺沢秀文 |
| 6/30 | 部落差別問題の現状と課題(仮題) 【講師】東信教育事務所生涯学習課指導主事 講座のまとめ |

◇対象 市内在住の方

◇時間 19:00~20:30 (6/9開講式18:50~)

◇受講料 無料 ◇場所 第一講義室

◆申込 随時

こもろ女性の家 パステル画講座

絵が苦手だと思っている方も歓迎



【講師】パステル和みアートインストラクター 井出さとみ

◇開催日 6/9(木)

◇時間 10:00~12:00

◇場所 陶芸木工室

◇定員 15名 ◇費用 500円

◆申込 5/9(月)~16(日)

こもろ女性の家 ウクレレ教室

初心者のためのウクレレ教室



【講師】ウクレレプレイヤー 坂根 剛

◇開催日 6/29(水)、7/26(水)、8/23(水)

◇時間 13:30~15:30 ◇場所 第一講義室

◇定員 15名 ◇費用 無料

◇持ち物 ウクレレ(無い方には講師が斡旋)

◆申込 5/23(月)~6/3(日)

「こんにちは」文化センターです!

文化センターの庭にも梅や桜が咲き、心躍る季節になりました。

公民館は3月下旬から通常開館となり、徐々に賑わいが戻ってきています。健康管理や換気、消毒など、十分な感染予防対策のうえでご利用いただいています。ご理解とご協力をお願いします。

また、今年度も家庭菜園講座を皮切りに、盛りだくさんの公民館主催事業もスタートしました。多くの皆様にご参加いただきたいと思ひます。

多くの方が「集い」一緒に「学び」「繋がる」という公民館の役割が十分果たせるよう準備し、皆様のお越しをお待ちしています。



5月 小諸市文化会館スケジュール

| 日・曜 | 開演 | イベント名 | 主催者 | 問い合わせ先 |
|-------|----------------|---------------------------|--------------|--------------|
| 8(日) | 14:00 18:00 | ウクライナ支援 ナターシャ・グジーコンサート | コミュニティテレビこもろ | 0267-26-6363 |
| 13(金) | 18:30 | 公民館役員研修会 | 小諸市公民館 | 0267-23-8880 |
| 14(土) | 9:15 | 佐久教育会総集会 | 佐久教育会 | 0267-67-2043 |
| 21(土) | 13:30 | 保健推進員総会 | 小諸市健康づくり課 | 0267-22-1700 |
| 27(金) | 13:30 | 総代会 | J A 佐久浅間 | 0267-68-1112 |
| 29(日) | | 定期演奏会 | 野沢北高等学校吹奏楽班 | 0267-62-0020 |

受付開始日

【公民館・こもろ女性の家】 令和4年7月利用 予約5月2日(月)
(貸出備品含む)

【乙女湖体育館】 令和4年11月利用 予約5月2日(月)

【文化会館】 令和5年5月利用 予約5月10日(火)